

舞鶴平安レディース(京都府)



「ちゃった娘」スーパーレディースは地域の安全を目指します

年齢層に応じた多彩できめ細やかなオリジナル紙芝居

1 団体の概要

舞鶴防犯推進委員協議会(警察署長・防犯協会長連名により委嘱した防犯推進委員により構成された団体)の有志の女性委員により、平成14年に結成された団体で、結成当初は7名であった構成員も活動とともに増え、現在25名の構成員がピンク色ジャンパーを着用し、防犯教室の開催や街頭啓発活動、防犯パトロールを展開している。

2 活動地域の状況

舞鶴市は京都府北部に位置し、市の東・西・南側の三方は山で囲まれ、北側は若狭湾に面し、市域の海岸線は若狭湾国定公園に指定されている美しい景勝地で、古来から天然の良港として栄えた。

城下町として発展した西舞鶴地区と、旧海軍の鎮守府設置を契機として発展した東舞鶴地区があり人口は約9万人である。

舞鶴平安レディースは、広い地域を東奔西走しながら日夜、地域安全活動を展開している。

3 自作防犯紙芝居による幅広い年齢層に対する防犯教室

女性の目、母親の目から見た犯罪被害防止対策等を効果的に推進するため、「わかりやすい防犯教室」をモットーに、平成 17 年から、視覚と聴覚に訴える「自作の紙芝居」による防犯教室を開始し、子どもの誘拐防止の紙芝居を上演して、地元の子どもたちに被害防止を呼びかけている。

さらに、昨年 8 月、振り込め詐欺被害が多発している現状から、地元の舞鶴警察署からアドバイスを受け、振り込め詐欺被害防止を題材とした防犯紙芝居「チョットまった」の制作にとりかかり、イラストは同団体の母体である舞鶴防犯推進委員協議会の委員が作成し、レディースメンバーがストーリーを考え、舞鶴警察署や委員宅で練習を重ね、レベルの向上を図ってきた。

地元の高齢者を対象とした防犯教室を積極的に開催するとともに、振り込め詐欺の手口や被害防止ポイントをわかりやすく、かつ、具体的に防犯指導するなどの工夫をしており、参加者から「被害防止の方法がわかりやすく学べる」と好評を得ている。

また、紙芝居は、少人数にしか対応できないため、多数の市民を対象とする際には、紙芝居をパワーポイントで大画面のスクリーンに投影し、紙芝居と投影による二次元上映によって多くの参加者に観てもらうなど、これまでの紙芝居の常識を覆す斬新なアイデアを取り入れ、見る側に立った上演を心がけている。

平成 20 年中	上演回数 15 回	受講者数 1,184 人
平成 21 年 8 月末	上演回数 13 回	受講者数 648 人

4 DVDを活用した効果的な広報啓発

舞鶴平安レディースが行う子ども安全対策防犯紙芝居を、DVDに収録し、舞鶴防犯推進委員協議会から助成を受け、地元の小学校に配付するなど、学校と連携した効果的な啓発活動を展開している。

また、振り込め詐欺被害防止啓発紙芝居もDVDに収録して、高齢者団体への貸し出しを行い、多くの高齢者に対して啓発を行っている。

本年 4 月 1 日、これまでの振り込め詐欺被害防止啓発活動が認められ、警察庁振り込め詐欺対策室長感謝状を受賞したことを機に、京都府防犯協会連合会の助成を受け、DVDを各警察署及び高齢者団体に配付し、各地で防犯教室の教材として活用されている。

5 警察・行政等と連携した各種街頭啓発活動

自転車盗撲滅キャンペーンを始め、各種街頭啓発活動にも積極的に参加し、地域住民に対して笑顔で防犯チラシを配付し、声かけによるワンポイントアドバイスを行うなど、女性ならではのスマートでさわやかな啓発活動を展開し、地域の自主防犯意識の向上に努めている。

また、各地域で行われる夜間パトロールにも参加し、女性の目から見た地域の危険箇所や問題点を発見し、行政や警察に対策を求めるなど女性ならではの特性を活かした防犯対策を展開している。

6 紙芝居制作のきっかけは・・・

「子どもたちに命の大切さをわかって欲しい」そんな思いから、「指人形劇、紙芝居」などによる防犯教室をやろうとのアイデアが出たが、「どれも私達にはできそうもない」「ボランティアでそこまで・・・」と消極的な意見もあり、全く進展しなかった。しかし、「レディースにしか出来ないことをやりたい。何事にもチャレンジ」との熱意と情熱が全員の心を結び、紙芝居を題材に一致団結しての取組みにつながった。

ちゃった娘・・・「ちゃった」とは舞鶴の方言であり、「～された」の意味。「ちゃった」に代表される舞鶴弁（ちゃった弁）を話す女性のことを「ちゃった娘」を言う。

舞鶴平安レディース（京都府）

団体の概要

みんなでつくろう安心の街。地域安全リーダーとして取り組んできました女性による防犯ボランティア活動を紹介させていただきます。

私たち舞鶴平安レディースは平成14年10月に、京都府北部では、2番目の舞鶴西平安レディースとして防犯推進委員の女性メンバー6名でスタートをしました。

翌年4月には、7名となり、レディース専用の制服も出来ました。レディース結成の理念は、女性ならではの、きめの細かな活動で、幼い子供や女性を犯罪から守ることです

ピンクの帽子にジャンパー、黄色のポロシャツと、外見はとても目立ちますが、恥ずかしくて、落ち着かないものでした。しかし出発した以上、前に進まなければなりません。男性委員さんと行動を共にしながらレディース独自の活動も模索し始めたのです。

自作防犯紙芝居による防犯教室



結成当初は、パレードやイベントに参加して啓発ビラを配るのが主な活動となっていました。大阪池田小学校児童殺傷事件以降、児童安全確保の活動も求められていました。

児童安全確保の活動も求められていました。穏やかな環境に包まれた私たちの街は、学校が危ないなど誰も信じられないのが実態でしたが、レディースの

重要な活動位置づけて、パトロールに参加していたのです。

日々の活動をとおして、幼い子供や高齢者を対象とした 指人形劇、人形芝居、紙芝居、そして腹話術と、相談しましたが、とても私達には実現不可能な物ばかりでした。でも幸いなことに、防犯推進委員さんの中に、絵がとても好きで得意な方がおられました。

毎年、年末になると舞鶴警察署の玄関横の大きな看板に「年末特別警戒中」と書かれ、そこには面白いイラストも描かれていました。この方に相談すれば紙芝居なら出来るのではないかと思ったのです。リーダーも絵を描くことには、多少の興味もあったようです。

これで絵の問題は解決をしました。紙芝居なら製作費用も、安くて済むだろうと簡単

に考えてスタートしましたが、今まで紙芝居を見てはいましたが、作ったことはありません。何から手を着けていいものか解らず、結局又、他人任せの無責任なことになりかけたのですが、街の図書館に、とても良い物がありました。

紙芝居づくりの本がたくさんあり、早速3冊ばかり借りての勉強会となりました。平成16年4月、やっとレディース独自の取組が決定をいたしました。警察署からも資料を取寄せていただき、毎年一つの防犯紙芝居を作ることになったのです。それでも実際に作業に取りかかったのは翌年、7月となっていました。



紙芝居は、言葉を絵にしたとても便利な情報伝達手段です。次に、言葉に起承転結をつけると一つの物語が完成します。脚本が出来上がると、あとは自由に意見を出し合い、だいたい12個のカットを決定すれば作品の完成となります。

それと画用紙の大きさですが、当初標準サイズの「八つ切」を予定していましたが一度にたくさんの人に見ていただきたいと思い「白ボール紙四つ切」を採用いたしました。

舞台枠も大工さんに見積もっていただくと、とても私達ではまかなえる金額ではありませんでした。これも器用な防犯推進委員さんの協力で廃材等を利用して制作していただき、木枠だけでスタートをしましたが、脚本、絵と出来上がり、いよいよ上演にすることになると、配役を決めなければなりません。それぞれ仕事や家庭にと、何かと忙しいメンバーばかりでございます。声の良し悪し、上手下手、そんな贅沢なことは言っていられません。出演できる人を調べて、役割を決めることが、リーダーの大仕事となりました。

出演者が多い時には、役割分担が可能となり、個々の負担も軽くなります。さらに余裕があるときは、効果音なども取り入れて、お芝居の雰囲気盛り上げることが出来ます。たとえば、始まりと終りに拍子木の音を入れると。

拍子木【七回叩く】

皆さんどうですか、歌舞伎座とは言えなくても、芝居小屋の雰囲気は出ていると思います。また、小さなお子さんには、注目の合図に効果を発揮しています。



私達の紙芝居のもう一つの特徴として、地域の民話を題材にした作品を同時進行で制作しております。幼い子供さんや、お年寄り、興味のないものには見向きもしないと言った傾向が見られます。

でも、聞いたことのある地名や、言葉が出てくると、意識を向けて貰えることが分かりました。病院の慰問で、認知症の傾向が見られるようになった方にも、楽しんでいただけたのです。

昔話の民話に共通して言えることに、勧善懲悪の内容が多く、防犯意識も大切ですが、子供たちに、悪い事をすれば必ず報いがあることも諭す効果があると思います。

平成 17 年、警察の組織替えて、舞鶴市の東西警察署も統合をされました。それにならって、防犯協会、防犯推進委員協議会も統合となり、レディースメンバーも 23 名となりました。紙芝居活動は引き続き行うことになりましたが、早速、統合の効果が発揮できたのでした。

顔も、名前もわからないメンバーが、共通の課題で取り組むこととなり、誘拐防止を中心とした紙芝居 3 作を DVD に収録することになりました。

夏休みを控えた、舞鶴市内小学校すべてに送ることが出来ました。

平成 20 年 5 月 5 日子供の日、舞鶴市の外郭団体から、「赤レンガ智恵蔵」での公演依頼がありました。観客数が定かでない、初めての取組でしたが、一人でも見て下さる方があればと思い、実施しました結果 1 日 3 回公演ではありましたが、延人数 350 人もの市民の方々が来て下さいました。



この出来ごとで、私たちの紙芝居活動が、地域の皆さんに広く知られるところなり、平成 20 年 7 月に、京都府北部都市で開催されました「府民防犯の日 in 丹後」で披露することになりました。舞鶴市を離れての上演はこれが初めてとなりましたが、11 月の宮津市への上演と続いていったのです。

そのころ社会問題化となっていました振込め詐欺が、舞鶴市でも被害が発生したことから、振込め詐欺防止啓発紙芝居を 8 月に制作していました。

9 月から町内会で上演をして、10 月には、地域安全運動期間中でもあり、毎週火曜日に老人クラブへ出向いております。

そして、今年 2 月には、府と市の共催「舞鶴消費生活講座」で上演となりました。

家族の会話が稀薄となり、相談する人があれば防止できたと言われますが、地方都市

でも同じ状態です。そのようなことのないように今でも、毎月市内を廻り上演して、訴えております。

私たちの小さな活動が、大きな効果を生み出すだけでなく、思わぬ波及効果ももたらしています。振込め詐欺防止紙芝居には、製作開始から上演まで、新聞記事として掲載されました。

そして今年4月に、警察庁より感謝状が授与されたことも大きく報道されたことから反響もさらに高まり、抑止効果を発揮しています。

京都府防犯協会連合会では、この紙芝居をDVD収録し府下全域に配付されています。弱者を狙った卑劣な犯罪には社会全体で対抗するしかないのですね。

紙芝居から始まったレディースの活動は、幼稚園でお遊戯を指導できるようにもなっています。

保育園での年末もちつき大会は6年続いております。

今年の5月5日、「子供の日紙芝居」は舞鶴市市政記念館での開催となりました。

メンバーには、青色パトロール車の実施者もいます。

昨年、舞鶴で発生しました女子高生殺傷事件では、夜間パトロールも行いました。

3人寄れば文殊の智恵と申しますが、複数の協力者があれば大丈夫です。やる気と続けることの大切さを共有していれば必ず成果は、向こうからやって来ます。

それでは、田舎に住んでいる、おばあちゃんと都会で暮す孫娘、加奈ちゃん親子の会話を題材にした振込め詐欺防止「チョットまった！」をご覧くださいますが、時間の都合で一部をカットしておりますのでご了承ください。

(以降、紙芝居上演)



皆様、いかがでしたでしょうか、最後に、現在自転車盗防止「自転車に2重のカギを」というテーマで紙芝居の制作に取り組んでいることを皆様に発表させていただきます。

これからも息の長い活動を続けていくことをお誓いし、発表を終わらせていただきます。ありがとうございました。

司会 ありがとうございました。私の方から質問させていただきます。先程も、振り込め詐欺防止の紙芝居を見せて頂いたところでございますが、これら視覚に訴えるのは非常に効果的だと思います。他の団体が何かやろうとした場合何から始めるのが一番効果的なのでしょうか？

回答 たまたま私たちのメンバーの中に、絵の得意な方とか特技とかそれぞれ持ち合わせているメンバーが多くその持ち味を生かして、何か出来るのはと思ったのが紙芝居だったのです。

司会 皆様方の団体でも何かございましたら。皆さんで話し合われてそれぞれ特徴的なことをやって頂くのが、効果的なのかなという風に思います。